



4月から、柏市内の名戸ヶ谷病院にある「脳卒中センター」との新たな取り組みがスタートした。

「レイソルオリジナルコース」と名付けられた脳ドックの検診だ。頭部MRI検査などが、税込み9900円で受けられる。すでに多くの申し込みがあり、受診件数は昨年と同時期よりも増えているそうだ。

脳卒中センターは、2021年10月に新設された。「世界最高水準の脳神経外科手術を柏で」をモットーに、脳卒中のすみや

脳ドック「レイソルコース」



(左から)井原聡先生、大谷秀和主将、井上靖章先生＝柏レイソル提供

かな治療ができるように最新設備や医療体制が整っている。同病院はホーム日立台のスタジアムに程近い。これまでも選手の手のメディカルチェックや新型コロナウイルス検査などで長くお世話になってきた。

病院からの「地域のみなさんへのより良い医療提供や健康維持に貢献していきたい」という

お話を受け、レイソルもその周知に少しでも協力できればという思いで実現した。

センター長を務める井上靖章先生は、予防や早期発見の大切さを訴える。「普段から職場での検診などを受けて、血圧や血糖値を把握すること。また脳ドックによって、血管が破れそうな箇所が未然にわかる場合もあります」

検査を受けるメリットはほかにもあるという。年に一回でも検査を受けることで、自分の健康のことを考え、向き合うきっかけになると思うんですよね。この話に、大谷秀和主将は神妙な面持ちで耳を傾けた。「僕の周りでも急に発症した方がいました。自分も検査を受けないといけないなど。でも、近くにこんな体制の整った病院があ

ると安心して生活できますね。サポーターの皆さんもぜひ受診してほしいと思います」

また今後、アカデミーの選手やスタッフへ、AED(自動体外式除細動器)の講習会や脳卒中予防についての講話を実施いただく予定だ。若い選手にとっては、命の大切さについて学ぶ貴重な機会になる。

最後に井上先生は、市民の方々にこう呼びかけた。「地域に求められる医療を提供していくのが私たちの願いです。皆さんの生活と近い距離にある柏レイソルさんと協力することで新たな健康への取り組みを行っています。一緒に健康な街づくりに取り組みませんか？」

日立柏レイソル広報課 大重正人